



令和7年平館小学校がスタート 1年生21名が入学！全校児童93名です

4月7日に始業式、8日に入学式を行い、令和7年度がスタートいたしました。始業式では、今年一年みんなで目指す姿を京都橘高校吹奏楽部の映像をもとに示しました。そのゴールの姿とは一人一人が役割を果たし、今よりも少しだけ力をつけ、そのみんなの力を集めて大きな力にすることです。また、昨年度から継続している「なりたい自分」になるための3つの力をさらに伸ばすためにはどうしたらいいのかを伝えました。



【入学式 立派に起立！】

① やる気（脳の働きから）

⇒「おもしろそう」をいつも自分から言うことです。そうすると脳が自然にやりたい！と反応していろいろなことにチャレンジするようになります。

⇒人の話を良く聴くことです。良く聴いていると、必ずと言っていいほど「あれっ」とか、「どうして」と思うことが見つかります。

② 根気（大谷選手のデータ636打数197安打、つまり439回の失敗があることから）

⇒これまでも、失敗しながら繰り返し繰り返し続けてきた皆さん。これから失敗しても、間違ってもそこから新しいものを見つけるのです。諦めないことが成功につながっていきます。

③ 思いやり（自分がしたこと「ありがとう」という言葉が返ってくることから）

⇒相手のことを思っていたことが、自分にも喜びとなって返ってくるわけではありませんか。すると、どうでしょう。自分も相手もどんどん心が成長していきますか。誰かのために自分の手を使うことが、みんなを成長させるのです。

入学式は多くのご来賓に参列いただき、21名の晴れの姿を祝っていただきました。6年生には、ボランティアとして朝の受付等の手伝いをしてもらいました。新入生は、式中もしっかり前を向いて式に臨むことができました。自分の名前が呼ばれると「はい」とはっきり返事をして礼もできました。1年間元気に学校生活を送るため、以下の3つのお願いをしました。

○口を使います⇒元気にあいさつをしましょう！（みんなが気持ちよくなります）

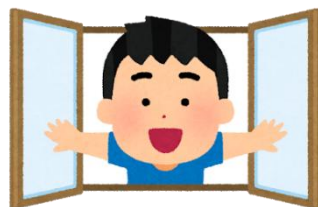
○耳を使います⇒話をよく聞きましょう！（勉強がよくわかります）

○目を使います⇒道路では周りをよく見て歩きましょう！（命を守ります）

すべての子ども達が1年間元気に、楽しく学校生活を送ることができるよう、職員一同努力してまいります。

紹介式・始業式児童会長の発表より

在校生の皆さん、これから新しい1年が始まります。これまでも大切にしてきたように「誰かのために手を使い、笑顔が絶えない、明るい学校」にしていけるよう頑張っていきましょう。



職員19名です。 よろしくお願ひします！



1・4-2 教務主任
角掛久幸

2-1：鈴木美奈

4-1：山本紀代

1-1：古館千枝子

5-1：三浦達美

養護：及川なつき

事務：藤村 南

用務：山田春夫

支援員：佐藤 栞

6-1：杉本智子

副校長：小山田義輝

1・2年副担任：鈴木謙二

3-1：石井 咲

校長：長山政志

3・5・6 - 2：川又江子

この写真には残念ながら居りませんが、右の4名の職員も、ともに子ども達のためにそれぞれの立場でがんばってまいります。常勤職員ではありませんので、それぞれの勤務計画に応じて勤務をします。

担任等	氏 名
支援員	伊藤 絵里
学校図書館司書	田村 志保
英語指導助手	ジョーダン・ビガム
ICT 支援員	関口 誠吾



平 館 小 1 5 0 周 年 ！

今年度、平館小学校は創立150周年を迎えます。昨年度保護者の皆様には、実行委員会に立候補いただきました。学校運営協議会の皆様にも組織に入ってくださいました。現在1回目の実行委員会を終え、来月には2回目の実行委員会が開かれます。折角の節目に、子ども達が現在の平館や、八幡平市について学んでいることやこれからに向けて考えたことを学校外に広く伝えていきたいと考えています。周年行事は、11月1日

（土）を予定しております。保護者の皆様から今後様々なご支援やご協力をいただきながら、周年行事を進めていきたいと思っています。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。



【平館小旧校舎】

今年度の教育活動を進めるにあたって

冒頭にも書きましたが、子ども達が「なりたい自分」を目指し、様々な教育活動を実施していきます。学校経営テーマは、**やる気・根気・思いやり**です。このテーマに迫るべく、つきたい力を**問題解決力、感性・表現・創造の力、伝える力、困難を乗り越える力、他者に対する受容・共感・敬意**の5つとしました。昨年度の保護者アンケートの結果も合わせ、5つの中から特に**問題解決力と困難を乗り越える力**をつけていきたいと考えています。授業はもちろんのこと、掃除や行事等への取組を通して、目標をもたせ取組の過程と成果について振り返りながら力をつけていきます。どの力をつけていくにも、ご家庭のご協力もいただかなければなりません。特に、まなびフェストにもある**家庭学習への取組、生活習慣の形成**は、子ども達が将来自分の力を発揮し、「なりたい自分」になるためには必要不可欠なことです。お忙しい日常ではありますが、是非ともお子さんが自ら考え行動できるよう、目をかけ、声をかけ、手をかけていただければ幸いです。